

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(50歳代男性)あり、血清型はO157です。本年の累積報告数は25例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(80歳代男性)あります。本年の累積報告数は26例で、過去10年間で最も多い報告数となっています。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(60歳代女性)あります。本年の累積報告数は33例となっています。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(80歳代男性)あります。症状は頭痛、発熱、菌血症で推定感染地域及び推定感染経路は不明です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(10歳代女性)あり、本年の累積報告数は38例となっています。5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しており、ワクチンによる予防が重要となります。なお、平成26年10月から高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの予防接種が定期接種となりました。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- 梅毒の報告が2例(30歳代男性, 20歳代女性)あり、本年の累積報告数は33例となっています。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

- 京都市におけるRSウイルス感染症の定点当たり報告数は2.00(82例)となり、4週連続で増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 2例(肺結核 1例, 潜在性結核感染者1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 310例(肺結核 151例, その他結核 73例, 潜在性結核感染者 86例)うち喀痰塗抹陽性 76例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例(第46週追加)【1月以降の累積報告数 25例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例(第45週追加)【1月以降の累積報告数 26例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 33例】
- 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例(第46週追加)【1月以降の累積報告数 38例】
- 五類:梅毒2例(早期顕症梅毒 I 期1例, 無症状病原体保有者1例)【1月以降の累積報告数 33例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.15	10
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.24	379
	② RSウイルス感染症	2.00	82
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.51	62
	④ 伝染性紅斑	0.68	28
	⑤ 水痘	0.54	22
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

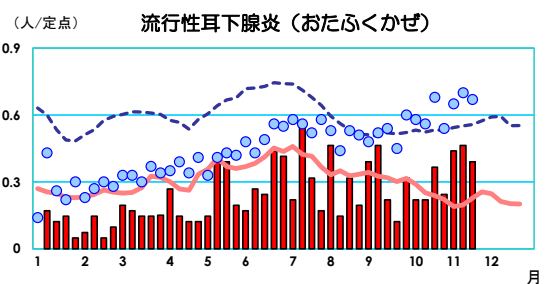
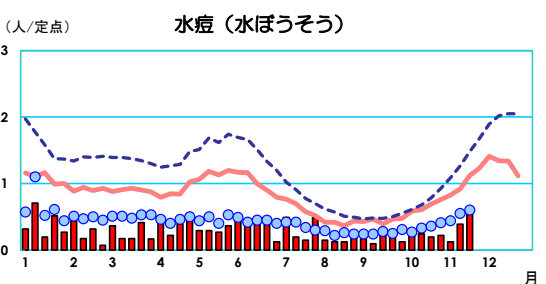
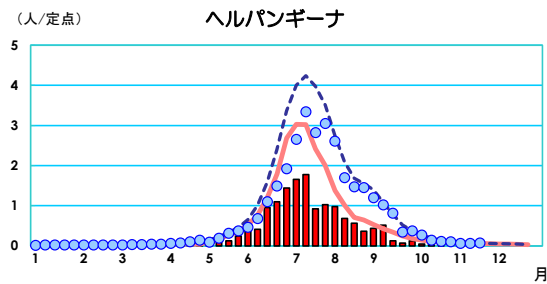
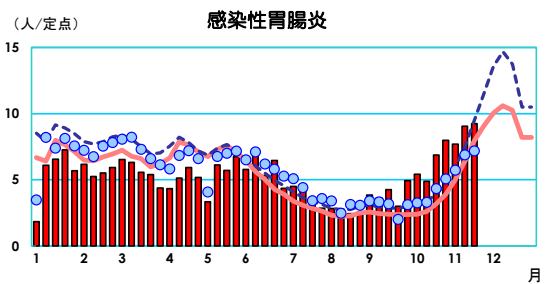
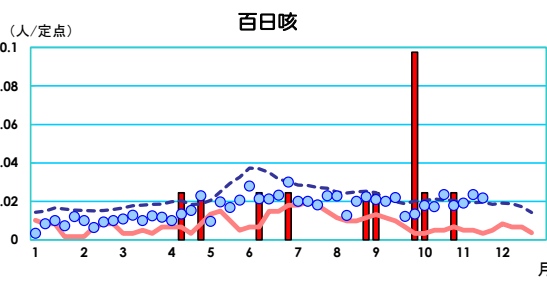
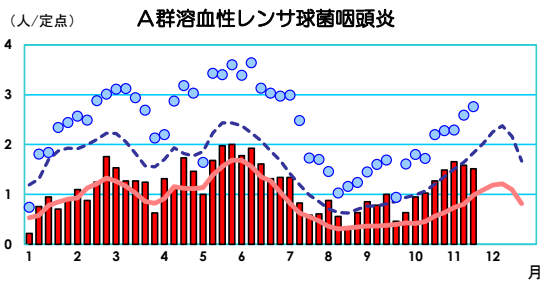
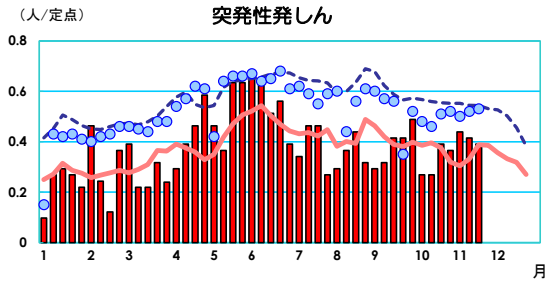
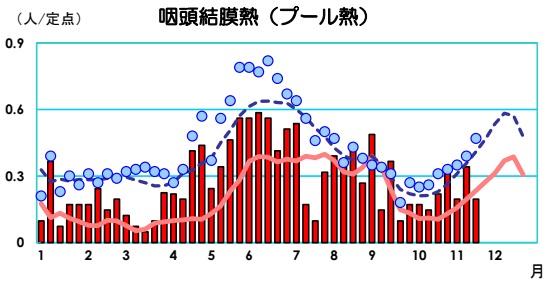
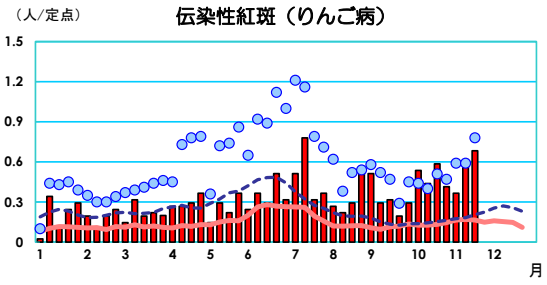
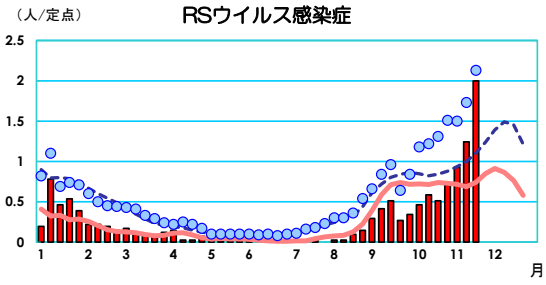
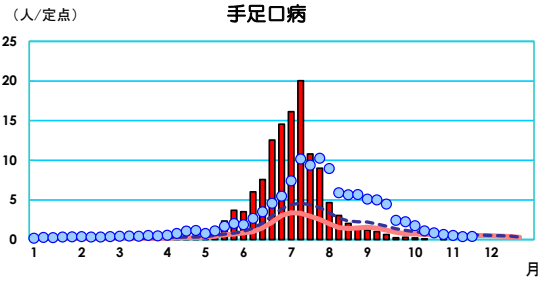
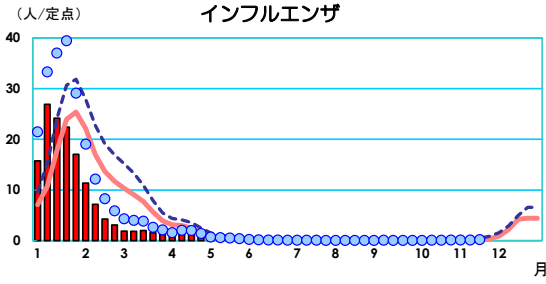
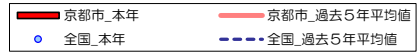
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成27年11月26日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルザ[®]及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第47週(11月16日～11月22日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市及び全国の発生動向

京都市におけるRSウイルス感染症の定点当たり報告数は2.00(82例)となり、4週連続で増加しました(図1)。過去5年間の同時期と比較すると、第46週、第47週に連続して最も多い報告数となっており(図2)、今後の発生動向に注意が必要です。全国的にも報告数の増加が続いており、近畿6府県すべてで報告数が増えています(図3)。

症状

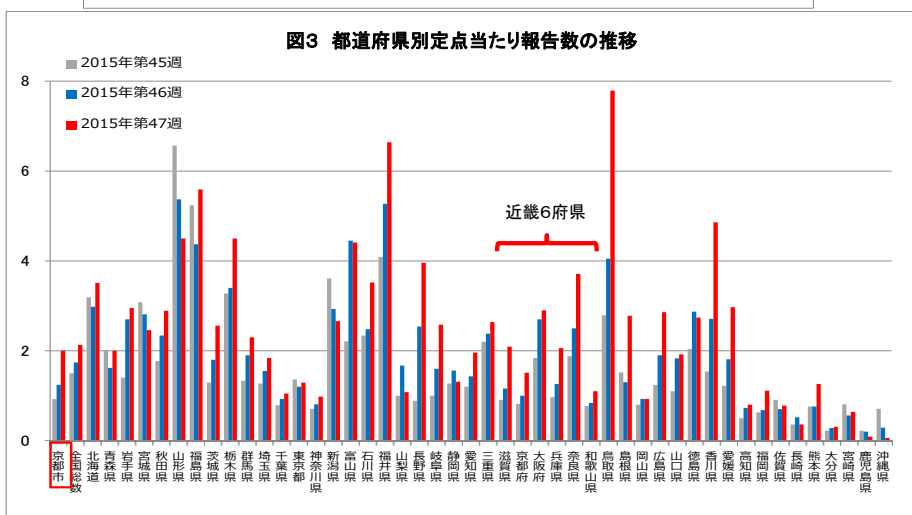
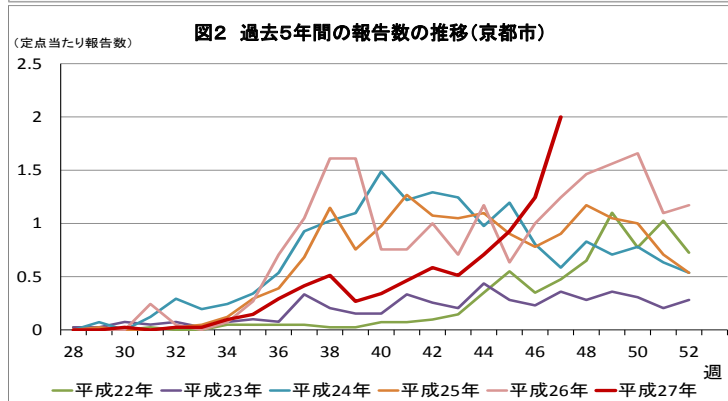
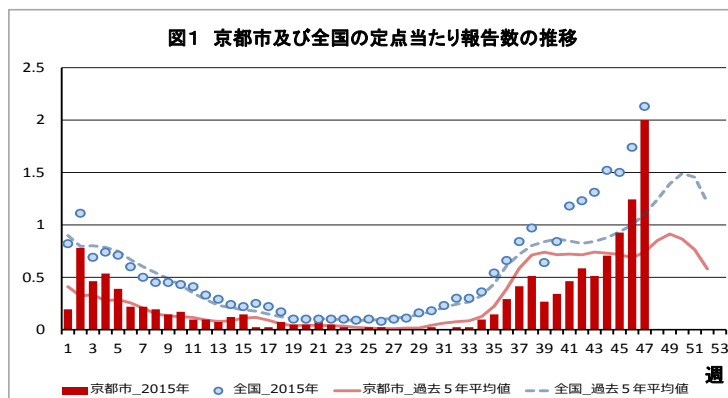
RSウイルス感染症は、RSウイルスを病原体とし、乳幼児に多い呼吸器感染症です。通常4～6日間の潜伏期間を経て発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。多くは軽症ですが、乳児で初めて感染した場合には重症化しやすく、ひどい咳、喘鳴、呼吸困難などの症状が現れ、場合によっては細気管支炎、肺炎へと進んでいきます。低出生体重児や、心臓や肺に基礎疾患があったり、神経や筋肉の疾患あるいは免疫不全のある場合にはより重症化のリスクが高まります。重篤な合併症としては、無呼吸発作、急性脳症等があります。

感染経路及び予防

感染経路は飛沫感染と接触感染で、発症の中心は0歳児と1歳児です。咳等の呼吸器症状がある年長児や成人は可能な限り0～1歳児との接触を避けることで、乳幼児の感染予防に繋がります。乳幼児に日常的に接する人は、咳などの呼吸器症状があれば、飛沫感染対策としてマスクの着用や咳エチケットを心掛けましょう。接触感染対策としては、子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどのこまめな消毒を行います。流水、石鹸で手洗いをし、アルコール消毒剤の使用により手指衛生を励行しましょう。

感染症予防のために

- マスクの着用や咳エチケットを心掛けましょう。
- 流水、石鹸による手洗いを励行しましょう。



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第47週

疾病,行政区別報告数

平成27年11月16日～平成27年11月22日

データ入手日:平成27年11月26日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	5	-	-	4	-	-	2	1	-	-	-	-	-						
上京	-	6	-	4	3	4	-	2	-	-	-	-	-	-						
左京	-	10	-	6	94	3	-	1	2	-	-	2	-	1						
中京	3	11	-	-	11	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	-	-	1	26	-	-	-	-	-	-	1								
山科	-	7	-	9	6	-	-	1	-	-	-	-	-	2						
下京	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
南	-	-	-	2	21	3	-	1	2	-	-	-								
右京	1	18	5	15	59	5	2	9	-	-	-	1	-	4						
伏見	5	22	3	19	79	5	-	6	5	-	1	9	-	1						
西京	-	2	-	6	76	-	-	6	6	-	1	2	-	-						
京都市計	10	82	8	62	379	22	2	28	16	-	2	16	-	8	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	1.25	-	-	1.00	-	-	0.50	0.25	-	-	-	-	-						
上京	-	2.00	-	1.33	1.00	1.33	-	0.67	-	-	-	-	-	-						
左京	-	2.50	-	1.50	23.50	0.75	-	0.25	0.50	-	-	0.50	-	1.00						
中京	0.60	3.67	-	-	3.67	0.67	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	-	-	0.50	13.00	-	-	-	-	-	-	0.50								
山科	-	1.75	-	2.25	1.50	-	-	0.25	-	-	-	-	-	2.00						
下京	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
南	-	-	-	0.67	7.00	1.00	-	0.33	0.67	-	-	-								
右京	0.13	3.60	1.00	3.00	11.80	1.00	0.40	1.80	-	-	-	0.20	-	4.00						
伏見	0.45	3.14	0.43	2.71	11.29	0.71	-	0.86	0.71	-	0.14	1.29	-	0.50						
西京	-	0.50	-	1.50	19.00	-	-	1.50	1.50	-	0.25	0.50	-	-						
京都市計	0.15	2.00	0.20	1.51	9.24	0.54	0.05	0.68	0.39	-	0.05	0.39	-	0.80	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第47週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年11月16日～平成27年11月22日

データ入手日:平成27年11月26日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	3	-	1	1	1
RSウイルス感染症		82	9	17	31	19	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		8	-	1	-	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		62	-	-	1	5	6	17	11	6	3	2	7	-	4	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		379	2	27	70	46	28	24	25	29	16	11	15	25	17	44	-	-	-	-	-	-
水痘		22	1	-	4	2	-	7	4	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		28	-	-	-	1	1	3	4	6	4	5	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		16	-	5	9	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		16	-	-	1	-	-	2	4	3	2	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	2	2	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	-	0.01	-	0.04	-	0.01	0.01	0.01
RSウイルス感染症		2.00	0.22	0.41	0.76	0.46	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.20	-	0.02	-	-	0.05	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.51	-	-	-	0.02	0.12	0.15	0.41	0.27	0.15	0.07	0.05	0.17	-	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		9.24	0.05	0.66	1.71	1.12	0.68	0.59	0.61	0.71	0.39	0.27	0.37	0.61	0.41	1.07	-	-	-	-	-	-
水痘		0.54	0.02	-	0.10	0.05	-	0.17	0.10	0.02	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.68	-	-	-	0.02	0.07	0.10	0.15	0.10	0.12	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.39	-	0.12	0.22	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.39	-	-	0.02	-	-	0.05	0.10	0.07	0.05	0.02	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	0.10	0.20	0.20	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第47週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年11月26日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	2	1	1	6	7	10
RSウイルス感染症	24	21	29	38	51	82
咽頭結膜熱	6	9	14	8	14	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	52	61	68	65	62
感染性胃腸炎	200	282	327	316	371	379
水痘	10	8	9	5	16	22
手足口病	4	-	2	-	2	2
伝染性紅斑	18	24	17	15	23	28
突発性発しん	11	16	15	18	17	16
百日咳	-	-	1	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	2	-	-	-	2
流行性耳下腺炎	9	15	10	18	19	16
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	2	-
流行性角結膜炎	8	-	4	6	2	8
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	336	430	490	498	589	635

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.03	0.01	0.01	0.09	0.10	0.15
RSウイルス感染症	0.59	0.51	0.71	0.93	1.24	2.00
咽頭結膜熱	0.15	0.22	0.34	0.20	0.34	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	1.27	1.49	1.66	1.59	1.51
感染性胃腸炎	4.88	6.88	7.98	7.71	9.05	9.24
水痘	0.24	0.20	0.22	0.12	0.39	0.54
手足口病	0.10	-	0.05	-	0.05	0.05
伝染性紅斑	0.44	0.59	0.41	0.37	0.56	0.68
突発性発しん	0.27	0.39	0.37	0.44	0.41	0.39
百日咳	-	-	0.02	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.05	0.05	-	-	-	0.05
流行性耳下腺炎	0.22	0.37	0.24	0.44	0.46	0.39
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	0.20	-
流行性角結膜炎	0.80	-	0.40	0.60	0.20	0.80
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	8.78	10.48	12.24	12.54	14.60	16.00

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。